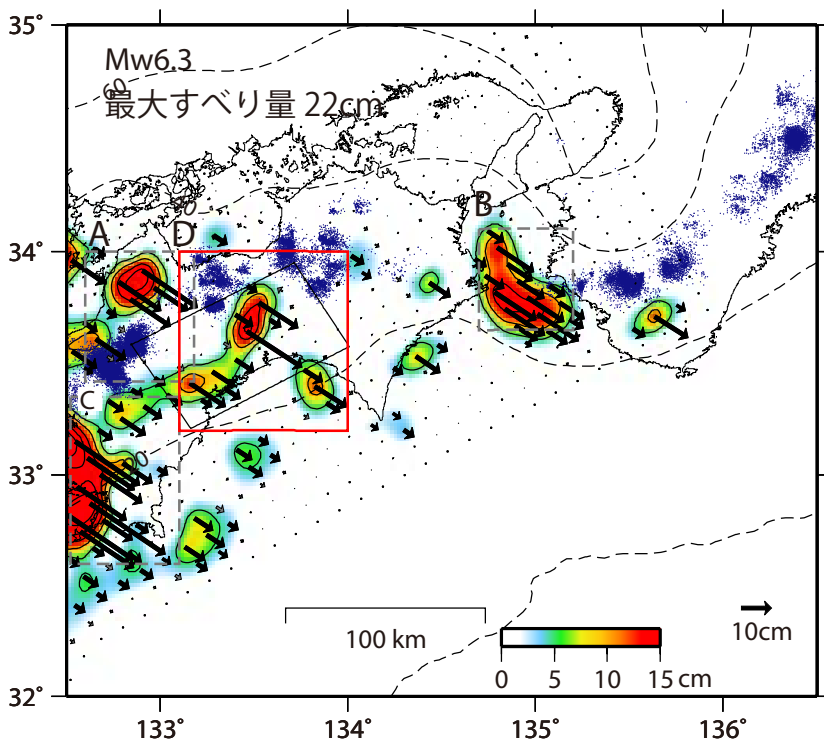
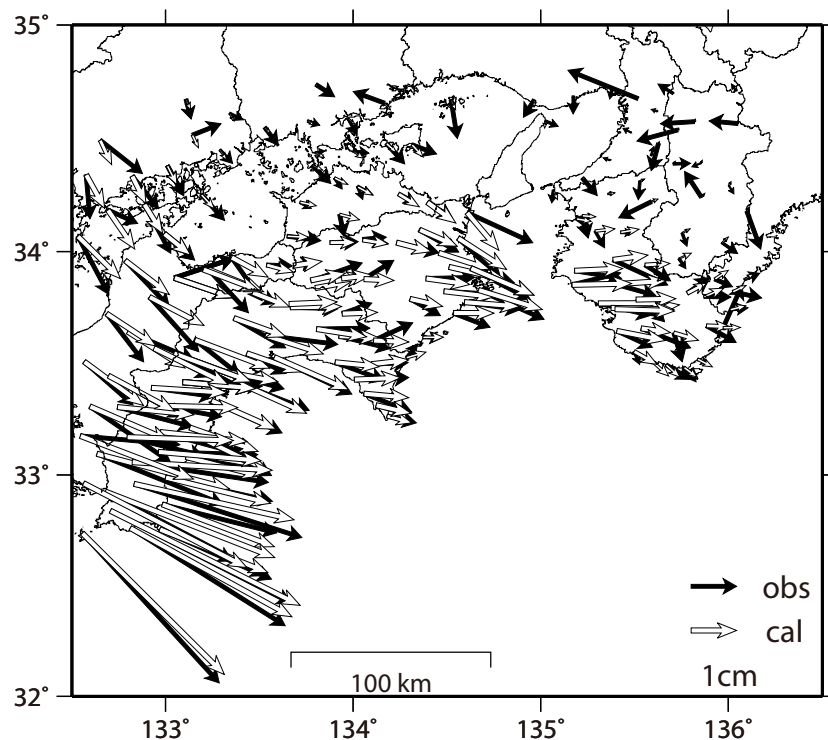


GNSSデータから推定された 四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2019/1/1-2022/4/13)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019/1/1-2022/4/13)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

- A 四国西部の短期的ゆっくりすべり
- B 紀伊水道の長期的ゆっくりすべり
- C 豊後水道の長期的ゆっくりすべり
- D 四国中部の長期的ゆっくりすべり**

使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2019/1/1- 2022/03/26) +R5解(2022/03/27-2022/4/13) *電子基準点の保守等による変動は補正済み
トレンド期間:2017/1/1-2018/1/1 (年周・半年周成分は2017/1/1- 2022/4/13のデータで補正)

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al.,2008)

すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束

青丸:低周波地震(気象庁一元化震源) (期間:2019/1/1- 2022/4/13)

固定局:網野